

廃藩置県 忍県の誕生

明治4年(1871)7月14日、新政府は藩を廃止して県を置く廃藩置県を断行しました。これにより全国の藩は県となり、3府203県が誕生しました。忍藩は忍県となり、忍城二の丸御殿に県庁が置かれました。後の県知事にあたる知県事には、元忍藩主の松平忠敬が就任したようです。

藩士たちの収入は、江戸時代以来の基本給ともいえる家禄と官禄(役職手当)がありました。家禄は廃藩以後も継続されますが、その額は以前から削減されており、さらに廃藩で官禄も失ったため元藩士である士族たちは自活の道を模索することになりました。

忍県ではこの状況に対して、同年10月27日付で士族たちに県の歳入・歳出の明細を公開して、困窮対策に対する諮問を行いました。これによれば、廃藩や維新による諸改革により士族は単に坐食する者となり生活は困窮する。数百年の困窮により産業に馴れないだろうが、当県は士族の数が多く米や金もない。ついては現在

県にある米高を元手として活計の道を探る他はない。その方法を考えて書面で提出せよとあり、提示された現時点での忍県の収支残額は1万2千300石ほどで、これで産業振興と藩債、藩札の償却計画を立てよと指示しました。士族困窮に対する産業振興と負債返還が発足当初の忍県の課題だったのです。

ところが、11月14日に府県合同が行われ忍県は岩槻県・浦和県と統合され埼玉県となり、この諮問も立ち消えとなりました。わずか4カ月しか存在しなかった忍県ですが、廃藩置県という明治維新最大の改革の中で、直面する課題に何とか対応しようとしていたのです。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)



忍県よりの諮問(国立公文書館所蔵「埼玉県史料44 忍藩県治」より)

はじめまして



令和2年10月生まれのお子さんを募集します

- 8月2日(月)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、9月2日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年8月生まれのおともだち



桃原 聡汰ちゃん(城西)  
令和2年8月31日生まれ  
父・裕太さん 母・愛菜さん  
「泣いて笑って元気いっぱい  
これからの成長が楽しみです！」



田邊 真緒里ちゃん(荒木)  
令和2年8月27日生まれ  
父・悟さん 母・玲緒奈さん  
「純粹で優しい子に育ってね！」



横井 明来ちゃん(門井町)  
令和2年8月23日生まれ  
父・克征さん 母・未来さん  
「沢山の笑顔を、  
幸せをありがとう！」



図斉 星奈ちゃん(荒木)  
令和2年8月12日生まれ  
父・亮さん 母・愛美さん  
「毎日たくさん笑顔と  
幸せをありがとう♡」



鈴木 陽翔ちゃん(谷郷)  
令和2年8月29日生まれ  
父・聖也さん 母・愛さん  
「いっぱい笑って  
元気に育ってね♡」



前原 拓未ちゃん(門井町)  
令和2年8月29日生まれ  
父・勇太さん 母・いずみさん  
「素敵な未来を切り拓いてね！」

今月の表紙

6月12日・13日に古代蓮の里東側の水田で田んぼアート米づくり体験事業の田植え作業が行われました。

今回の田んぼアートのデザインは、「田んぼに甦るジャポニスム～浮世絵と歌舞伎～」参加者は、丁寧に苗を植えながら、田んぼに絵柄が浮かび上がるのを楽しみにしているようでした。※表紙の写真は、撮影時のみマスクを外しています。



現在の友だち登録数 14,000人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい 植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています